

クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7803 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和8年1月 第197号

令和7年度県民まるごとスポーツ推進事業(県スポーツ協会補助事業):倉吉サンリンク・スポーツ



ラダーゲッター

日にち:令和7年12月13日(土)

場 所:旧小鴨小学校体育館

種 目:「ラダーゲッター※1」「モルック※2」

目 的:年齢・性別・障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進する。

内 容:参加者を3人ずつのチームに分け、両種目とも2セット先取で勝敗を決めました。

初めて参加した人もすぐにコツをつかみ、モルックでは狙いを定めた1本のスキttlに命中したり、ラダーゲッターでは床にワンバウンドして一番下のラダーだけではなく、二番目のラダーに引っ掛かったりとミラクルショット連発で、チームの勝利に貢献しました。

“誰でも気軽に楽しめるユニバーサルスポーツ、是非体験してみてください。”



モルック

連絡先

倉吉サンリンク・スポーツ事務局 杉谷 哲治

TEL:090-6436-9196

E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

※1 ラダーゲッターは、両端にボールがついたヒモを、ラダー(はしご)に向かって投げるゲームです。ボールがラダーに引っ掛かるとポイントとなり、そのポイントを競います。21点先取したプレーヤーが勝ち。

※2 モルックは、モルックと呼ばれる木の棒を投げて、スキttl(木製のピン)の倒れた合計得点が50点ぴったりに得点したチームが勝ちとなるゲームです。

令和7年度鳥取型障がい者スポーツ推進事業(県障がい者スポーツ協会委託事業):倉吉サンリンク・スポーツ



モルック

日 ち: 令和7年12月20日(土)

会 場: 県立倉吉養護学校体育館

種 目: 「モルック」「ボッチャ※3」「ラダーゲッター」

目 的: 特別養護学校の学校体育施設を拠点として、特別養護学校の在校生及び卒業生、地域住民が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現を目指す。



ボッチャ

内 容: 体育館にモルック・ラダーゲッターを1コート、ボッチャを2コート設置し、全種目(4コート)を回って対戦しました。慎重に狙って投球する生徒もいれば、ポジションについてすぐ投球する生徒もいて、個々の性格が出ていました。

それぞれのチームで作戦を立てて投球するのですが、初めてにも関わらず思い通りに全て命中させ、本人も驚くほど神がかった人がいて驚きました。

熱戦が繰り広げられ、とても盛り上がった体験会になりました。



ラダーゲッター

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局 杉谷 哲治
TEL: 090-6436-9196
E-mail: sanrink_sugi@yahoo.co.jp

※3 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけるかを競います。

キッズサッカー&たいいく教室:NPO法人ウルトラスポーツクラブ



風船リフティング



ドリブル&シュート



敵陣に攻める

令和7年12月21日(日)、NPO法人ウルトラスポーツクラブ主催の「キッズサッカー&たいいく教室」が境港市民体育館第2で実施され、3歳から6歳までのキッズ50名が参加しました。

サッカー教室では、鬼ごっこ・風船でリフティング・ボールキャッチ・ドリブル&シュート、たいいく教室では、かけっこ・ケンケン・鉄棒・ミニトランポリン・平均台・前転・ブリッジなどに挑戦しました。

子どもたちは、どちらの教室も集中して楽しく体験しました。

当クラブの中学生もお手伝いに来てくれ、子どもたちは大喜びでした。いい仕事してくれました。(さすが中学生！)

この体験会で少しでもスポーツに興味をもってもらえて、クラブに入会してくれる子どもが増えると嬉しいです。



平均台



ブリッジ対決



前転練習



集合写真(境港市民体育館第2)

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
金坂 博
TEL:0859-57-5170
E-mail:ultra-cs@sea.chukai.ne.jp

中国ブロッククラブネットワークアクション2025が開催されました



1日目(岡山城不明門)



2日目(岡山城不明門)

令和7年12月6日(土)・7日(日)、「令和7年度中国ブロッククラブネットワークアクション※2025」が岡山城不明門で開催されました。

※目的: 総合型クラブ設立時の理念や想いを改めて確認し、クラブの更なる発展に向けて、次代の人材確保・育成について考える。多様な人材を巻き込み、地域を動かすための実践的な知見を共有することで、各クラブが未来へ向けて力強い一歩を踏み出すための誓いを立てる機会とする。

【1日目】

○共通プログラム『次代の人材育成・確保』

「人を巻き込む、地域が動く～まちづくりリーダーの流儀」

多様な領域で活躍する「まちづくりリーダー」が現場でのリアルな経験と哲学(流儀)を語る。

事例発表: 小出利一氏(NPO法人新町スポーツクラブ理事長)

渡邊優子氏(NPO法人希楽々理事)

関口昌和氏(一般財団法人どんぐり財団代表理事)

ファシリテーター: 西村貴之氏(金沢星稜大学教授)

【2日目】

○独自プログラム『未来を創る！ガバナンスリーダー養成カリキュラム共創ワークショップ』

未来のリーダー養成に必要な「カリキュラム」を参加者全員で創り上げるワークショップ

ファシリテーター: 高岡敦史氏(岡山大学准教授)

・グループワーク

「能力要素のマッピング」(リーダーに必要な能力要素を分類・整理しリーダー像を具体化)

・グループワーク

「カリキュラム骨子のデザイン」(リーダーの具体的な育成方法のアイデアを出し年間カリキュラムをデザイン)

【情報交換会】

会場: 岡山城天守閣

各県から2名ずつ召集された若者が中心となり、会場設営から料理の準備、進行、片付けまで、自分たちで1から創り上げ実施されました。鳥取県からは「スポnetなんぶ」の丸谷拓也さん・尾形祐次郎さんの2名が参加

参加者が持ち寄ったつまみや地酒等の名産品もテーブルに並べられ、情報交換会に華を添えました。

各テーブルにミッション遂行のために召集された若者1名ずつが配置され、質疑応答の時間が設けられ、ちゃんと答えられたらミッション完了！また、1人ずつ前に出て、自己紹介・我がクラブ自慢を発表しました。

次回開催は広島県です。広島県では今回のテーマを引き続き行い、さらに深堀していく予定です。次代を担う若者たちがたくさん参加してくれるといいです。



情報交換会(岡山城天守閣)



クラブ自慢の発表
(スポnetなんぶ: 丸谷拓也さん)



クラブ自慢の発表
(スポnetなんぶ: 尾形祐次郎さん)